

事務局

(1) 全国連盟行事

1) 「全国救助技術交流集会の件」対応 ・2025 年 7 月 5 日(土)～6 日(日) 神戸市立神戸セミナーハウス・講堂で開催

・大阪労山から下窪さん参加 ; スタッフ申込みは大見が全国に提出します

2) 全国登山研究集会 11 月 15 日(土) 午後から 16 日(日) 午前 ・6/25Zoom で実行委員会(大阪から大見さん澤村さん高橋参加)

第 19 回全国登山研究集会、第 1 回実行委員会 結果 2025 年 6 月 25 日 理事長 川嶋高志

日 時: 2025 年 6 月 25 日 19:30～21:00 場 所: オンライン (Zoom)

出席者: 全国 川嶋、今野、阿部、大杖、三瓶、平尾、山本尚、山本裕、大阪 高橋理事長、大見事務局長、下窪・澤村理事、欠席 浅瀬、石川、加治

全国登山研究集会の目的

- ① 日本の登山文化・技術を次世代に継承するため、組織の拡大を図る。
- ② 国民が求める多様な登山要求に対応するため、組織の拡大強化を図る。
- ③ 労山の理念を普及する→労山の組織強化。

労山の理念 「**権利としての登山**」 (日本勤労者山岳連盟 趣意書から)

すべての国民は“人間らしく成長し、人間らしく生きる権利”を持っている。登山などの文化・スポーツは、その権利の重要な部分である。行政は、その権利を保障する義務があり、その実現のために登山者は広く国民との共同行動を発展させなければならない。

今回の登山研究集会で考えること

組織数減少の折から、**組織の強化と拡大**について具体的な方法を考える。

→長く安全に山へ向かう知識と技術、未組織者へのアプローチ、自然保護について。

基調講演

これからの労山(仮題) 講演者 川嶋理事長 内容 J W A F Forever Plan

登山寿命の延長(仮題) 講演者 石川副理事長 内容 登山寿命を延ばす講習会

具体的な課題(分科会)

- ① 筋力トレーニングによる転倒事故防止と登山寿命の延長、快適な山行について。
- ② 市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて。
- ③ 自然保護活動の推進について(大規模開発の問題点)

・7 月中に実施要綱を作成して地方連盟に配信する。基調講演と分科会は案とする。

・参加費は一泊二食で 6,000 円とする。

・今回、分科会は上記の三つに絞る。ホームページ・SNS の利用などと若手会員向けの行事は別途に開催を検討する。

・7 月中に第 2 回の実行委員会を開催する。 以上

3) その他の全国行事

・全国自然保護講座 9/27-28 (自然保護委員会の項に詳細あり)

・青森県弘前市 ・若手クライミング集会 10 月

組織部

百名山の輪

6/6 九重山 9 人(7 山岳会) 平治山ミヤマキリシマが美しかった

次回は白山 7/12-13。10/11-13…谷川岳

支援の輪…6/20 から輪島市 7人参加 次回は珠洲市 10人予定 8/30

9/4 組織部会予定

11/2-3 能勢でクラブ交流会予定

自然保護委員会

1. 憲章の実践 6月16日現在 沢村:sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

+ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m以上での目撃に限ります。 ():前期らいちょう 2件(29件) 鳥獣 0件(5件) 昆虫 0件(3件)

環境省・いきものログ投稿:今期・0件 累計・84件 全投稿数・187件

+ 倒木対策 4件(9件)

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を!自治体および私に連絡を。

6/1、泉州労山がクリーンハイク・笠山で倒木2本をノコギリ処理

6/1、八尾労山がクリーンハイク・信貴道で倒木を発見、役所に処置を依頼。

6/1、淀屋橋労山がクリーンハイク・札立山コースで倒木を発見、私が役所に写真を転送し処理を依頼。 未だ、回答なし。

+ 定点写真観察活動(山岳自然の異常現象とかゴミ問題など) 0件(1件)

3.たんぼぼ調査 3月1日~5月31日 ハイクがてらにたんぼぼ採取!!

データが少ない自治体がある。みなさん、協力を!!

澤村と青木さんで10数株採取。 これも市民科学と言える

4.クリーンハイク 6月1日、天候に恵まれ各山域とも実施。

25山域より報告あり。参加者数:412人 ごみ:265Kg

倒木報告は3山域よりあり。報告未提出はテンション(岩崎) 自然保護講座

期日:9月27日(土)~28日(日)

開催場所:弘前市岩木青少年スポーツセンター

・50名で予約 8月15日までに男女人数決定しないとイケない

・ジャーナルで参加・投稿を呼びかける

・6/8 青森県連の基金説明会で源島さんが下見および打ち合わせする

宿泊費 3,800円 夕食 1000円 朝食 800円・大会議室 1時間 1000円・談話室 1時間 500円(今年度から値上がりしている)

講師:佐々木邦夫「北海道大学非常勤講師・北海道風力発電問題ネットワーク代表」

(北海道からの交通費・謝礼・宿泊代を支給、空港からの送迎は道川夫婦が行う)

道川勇子ご夫婦(交通費支給・宿泊代は自己負担)

山門水源の森 10月下旬に企画 八尾・中路さん担当

日頃、当地の保全活動や調査に携わっているガイドが、ご案内いたします。

経験豊富なガイドの説明により、多様な自然を楽しんでいただきながら、この森のしくみと保全の重要性を正しく理解していただけることと思います。

グループ・個人を問いませんが、あらかじめ下記の注意事項をお読みいただきご予約ください。特に、旅行会社などは必ず募集前に計画をご相談ください。ご相談のない場合、ガイド依頼を受けられないことがあります。春・秋のシーズンにガイド依頼が重なると人の確保ができなくなりますので、よろしくお願いします。

お申し込みは「有料ガイド申込先」からできます。

●ガイド料：

個人一般・私的なグループ＝10,000円、旅行会社等＝15,000円

（参加者15名につき1名のガイドが基準で、少人数でもこの料金となります。ガイド料は、森の保全活動のために使われます）

ガイド利用の場合、協力金はガイド料に含まれています。

女性委員会

6月6日(金)例会 報告

5月18日(日)こども冒険学校(春)のクライミングは雨のため中止

5月24日(土)近畿ブロック会議 場所 府連事務所 10時から14時

参加 大阪3名 兵庫3名 奈良1名

各県連の報告

(兵庫)女性の為の山登り講座を3月に実施、11名参加 大阪から3名の参加があった

(奈良)毎年恒例のテーピング講習会を7月に実施、30名の参加があり 京都は今回不参加、和歌山は現在女性委員会は消滅状態とのこと

全国連盟はアンケートの回答(581)を受けて、女性委員会の存続を検討することにしてるようです

子どもの冒険学校

・6月8日 午後 ワラジ講習会 4名参加

・8月23日～24日(土日) 夏の冒険学校 募集開始 現在子ども6人応募 京都市立花脊山の家 17人の応募

<https://bokengakko.aikotoba.jp/2025bosshu.pdf>

海外委員会

2025年度以下の報告有り

・パキスタン、カラコルム地方のコサールガン登山（西淀労山 6月18日～16日間）

・ニュージーランドハイキング（OAR 3月20日～11日間）

・中国雲南省ハイキング（OAR 4月27日～9日間）

3ヵ月ごとに報告会 計画会、参加者会議のいずれかを開催 次回はキナバル登山の計画会を7月に予定

平和と登山委員会

2025年国民平和大行進

今年も国民平和行進の時期を迎えました。今年の大阪の平和行進・幹線コースは6月30日～7月7日の8日間ですが、来年からは酷暑対策などを考慮して、この8日間は半日コース、残りの半日分は6月29日以前に前倒しになるようです（検討中）。今年の平和行進は、6月30日に大阪に引き継がれます。大阪到着は、6月30日（月）、柏原市で奈良県連から労山旗を引き継ぎ、7月7日（月）川西市で兵庫県連に引き渡します。大阪労山も8日間、各山岳会・クラブと連携しながら「平和あってこそ登山」の労山の理念に、核兵器廃絶を訴えてながら歩いていきたいと思います。各コース・通過地点・通過時刻（予定）を掲載しましたので、みなさんの都合の良い日時、コースでご参加ください。

【平和行進・幹線コース】の紹介(省略＝ニュース6月号・7月号掲載済)

①各コース担当者です（予定）。6月30日：本田・笠井、7月1日：未定、2日：澤村・大西、3日：澤村・大西、4日：笠井、5日：園、6日：未定、7日：園・笠井

②各コースの担当者、参加者は宣伝車に積んである幟、ポールを準備して下さい。

③参加者は「大阪労山ノート」に所属会、氏名、感想等をお書き下さい。

④参加者はOWAFメールで当日の平和行進の状況、感想を送ってください。

障登PT 「体力を知ろう」講座。第3回目は10月～11月予定で調整中。

教育遭難対策部

1) 安全対策基金（全国連盟から 15 万円の補助）配布状況

50000 山の教室(済み)/ 20000 ハイキングセミナー(済み)/ 20000 中級登山学校(済み)/ 20000 障登 PT (済み) 15000 初級登山学校 (済み) / 15000 初級冬山登山学校 (募集開始後) / 10000 岩登り講習会 (募集開始後)

2) 事故調査委員会

- ・大台ヶ原事故調査 6月7日に現地に出向いたが、諸事情で現地入りできず。日程再調整する
 - ・遭難位置について、奈良県警本部に情報公開申請を行う予定（6月18日；大見）
- ココヘリで記された場所よりさらに 200m 下の一番危険な場所と判明。

3) 夏山連絡会

- ・7月24日(木)・気象と事故について 報告者と調整中

4) 救助隊の現在の状況

- ・2024 年度の未提出の議案書と会計 会計は案が出てきている

5) ヤグラ整備

- ・ヤグラから張りだしている横棒で、登り返しの訓練を行い、棒が曲がる損傷発生。本来の使い方ではない事例であり、確保訓練には支障が無い。不安全な使い方に対する注意が必要。
- ・問題点 ウインチ支点と確保支点が近いため、落下時に干渉する 支点を離すよう改造する。またアンカーボルト 6 本も補強が必要

両方合わせて 10 万円くらいはかかりそう。金額が決まり次第理事会承認の上、全国連盟に補助金申請する（6月 7月の理事会で承認が得られるよう進める。8月初旬に全国連盟に申請する）

- ・やぐら管理委員長 中川さんから提出された辞意の文章を承認。退任時期や引き継ぎは中川さんと協議する

長距離縦走委員会 明日第一回実行委員会開催。実施日は 10/19

ハイキングセミナー 5/25 読図山行実施。6月に入ってテント泊訓練。悪天候時の訓練も必要

6/29 蓬莱峡で実技。

(以上) 文責：高橋明代